

ALT



こんにちは
ルーカス・クラークソン
外国語指導助手 (ALT)
です

見方の問題

日本に長年住み、その間友人、知人、更にはほとんど知らない人からさえ数え切れなくらい多くの親切をいただき、とても幸せだと思っています。日本の人々が困っている人を助けるその温かさには、しばしば感心します。その上、日本の人々は悩んでいる人に対して、信じられないくらい広い心で同情します。また、不具合な環境を少しでも良くしてあげようと、最善を尽くします。しかし国内ではこんなに優しい日本人が、すぐ隣の国に対してはそうではないのです。つい最近中国を旅行し、このことを強く考えるようになりました。

私が中国を旅しようと思ったのは、全く突然のことでした。中国の習慣・文化について、ほとんど学習する時間がありませんでした。それで知っておくと便利な中国語やおすすめの観光地、それにその土地の人々と交流する際の心得等が載っているガイドブックを買いました。これはとても詳しい本でしたが、それでもなぜか何かが足りないような気がしていました。周りの人々に中国はどんな国だと思っているかを尋ね、中国に関する有益な情報を得ようと思いました。そんな中で次のようなことを聞きました。

「中国人はとても不作法で、平気で列に割り込んだりする」「子ども大人もみんなあちこちにつばを吐く」「不潔だ」「トイレにドアがない」

私は聞いたことに非常に驚きました。しかし、ステレオタイプ（固定観念）にも幾分の真実はあるということもわかっているので、とにかく自分の目で実際に見てみるまで判断を保留しようと思いました。

私は万里の長城への2日間の旅を含め、合計で2週間余り、天津、北京、上海など中国のあちこち有名な観光地を回りました。私の旅は素晴らしいもので、言葉の問題はありましたが、私の中国の人々に対する印象は大変好感の持てるものでした。しかし旅の間中、中国に来る前に聞いていたことを思い返さずにいられませんでした。残念なことにそのステレオタイプな見方に、幾分の真実があることに気づきました。事実、つばをはく人も列に割り込む人も見かけました。更にある人々には、「不潔」と感じられてしまうような人も街の中を歩いていました。しかし、こういう光景を目撃すればするほど、私自身がそれを期待していることに気づきました。つまり自然と私は、こういうことに目がいくようになっていたのです。そしてこういう光景に出会うと、ある種、納得するようになっていました。このことが私を悩ませました。というのは、私は新しい土地を旅する時、常に先入観を持たないよう努力してきたからです。この時私は悟りました。ステレオタイプには正しい部分もあるけれど、それは決して対象としている人々の大部分を表しているものではない。つまり、それは全く役に立たないものだ。

最近中国との結びつきを新たにし、過去の政治の行き詰まりを打開しようという動きがあります。このことが早く実現して欲しいと思います。でもこれは草の根、つまり両国の一般市民レベルの活動によって初めて効果を生むものです。まず、両国民がお互いのステレオタイプを取り除き、新しい視点からお互いの違いを理解し合うよう努力をすべきではないでしょうか。

*この記事は、ALTの書いた英文を訳したものです。
英語版は中央公民館にあります。